

5 類感染症への移行後の市立学校園における新型コロナ感染症対応について

新型コロナウイルス感染症が「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の 5 類感染症に移行することを受け改訂される「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」（5 月 8 日～）を踏まえ、市立学校園における、新型コロナウイルス感染症への対応について、次のとおり変更する。

1 学級閉鎖基準の見直し

(1) 現状

令和 4 年 9 月 1 日から、次の①・②の基準を両方満たした場合に、原則、感染者の最終登校日の翌日から 5 日間、学級閉鎖を実施。

- ① 同一学級内で、3 日以内（1 例目の感染者の最終登校日の翌日を起算日）に、感染者を 3 名以上確認（家庭内感染が疑われる等、感染経路が異なる場合は除く。）。
- ② ①の基準に達した時点で、①の感染者と発熱・咳等の症状による欠席者の総数が 5 名以上となった場合。

※ 高等学校・総合支援学校は、小・中学校等の対応を参考に個別に判断。

(2) 変更方針

ア 方針

インフルエンザと同様の基準で運用する。

※ 1 5 月 8 日から、新型コロナ感染症がインフルエンザと同じ「学校保健安全法施行規則」の第二種感染症に追加される。

※ 2 出席停止期間は以下のとおり規定された。

新型コロナウイルス感染症	<u>発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで。</u>
(参考) インフルエンザ	<u>発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで。</u>

イ 基準

次の①・②のいずれかの基準（目安）を満たした場合に、学級閉鎖を検討し、原則として、当日を含み、暦日 4 日程度の学級閉鎖を実施する。

- ① 同一学級で、インフルエンザ感染もしくは新型コロナウイルス感染症感染と診断された欠席者が概ね 15%を超え、さらに感染拡大が予想される場合
- ② 上記①による欠席者を含め、風邪症状等の欠席者や有症者（熱、咳、咽頭痛等）の合計が、学級の概ね 1 / 4（25%）を超えて、さらに感染拡大が予想される場合

※ 総合支援学校、幼稚園においては、患者の発生状況に応じて学級閉鎖等を個別に検討する。

ウ 適用日

令和 5 年 5 月 8 日（月）から

2 学校園における感染症対策

児童生徒の健康観察や教育活動中の感染症対策、出席の取扱い等について、5月8日以降は、以下の文部科学省が示す考え方を踏まえた対応を行う。

【文部科学省が示す考え方】

- (1) 感染状況が落ち着いている平時においては、児童生徒の健康観察等、引き続き、ア～ウといった対策が重要であるが、これ以外に特段の感染症対策を講じる必要はない。

ア 家庭との連携による児童生徒の健康状態の把握

※ 現在、毎日行っている検温や健康観察表等の提出は不要

イ 適切な換気の確保

ウ 手洗い等の手指衛生や咳エチケットの指導

- (2) 地域や学校において感染が流行している場合などには、活動場面に応じて、ア・イ等の教育活動の制限を一時的に講じることが考えられる。

ア 「近距離」「対面」「大声」での発声や会話を控えること

イ 児童生徒間に触れ合わない程度の身体的距離を確保すること

※ 現在は、感染状況に関わらず、「感染リスクが比較的高い学習活動」とされている活動については、少人数のグループ、大声での会話や近距離で向かい合っでの発生を控える、また、給食等においては机を向かい合せにしない（向かい合せる場合は、一定の距離（1 m程度）を確保する）などの対策を講じている。

- (3) 感染状況に応じて機動的に講ずべき措置として、児童生徒の感染が判明した場合には、学校保健安全法に基づく出席停止措置（1（2）※2を参照）を講じるとともに、児童生徒が授業を十分受けることができないことによって、学習に著しい遅れが生じることのないよう、必要な配慮を行うこと。

また、合理的な理由により、感染不安で休ませたいと相談のあった者等については、校長の判断により、引き続き「校長が出席しなくてもよいと認めた日」として扱うことが可能であること。

※ 現在、新型コロナウイルス感染症の出席停止の期間は「治癒するまで」と定められており、療養期間が発症日から7日間経過し、かつ、症状が軽快した後24時間経過した場合とされている。

3 市立学校教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染の広報発表について

市立学校・幼稚園の教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染者数等の広報は、5月7日分の発表（5月8日広報）をもって終了する。

参考：市立学校・幼稚園における新型コロナ感染状況等について

1 令和4年度の感染者状況

市立学校・幼稚園での新型コロナ感染者は、全 255 校園で、31,234 名（教職員：2,637 名、児童生徒：28,597 名）確認されている（学校園から教育委員会への報告数）。

1 学期の学級閉鎖数：201 校、666 学級（※1）／3,961 学級（※2）：16.8%
2 学期の学級閉鎖数：107 校、223 学級（※1）／3,961 学級（※2）：5.6%
3 学期の学級閉鎖数：14 校、16 学級（※1）／3,961 学級（※2）：0.4%

（※1）学期期間中に複数回閉鎖を行った学級は、「1 学級」とカウント。

（※2）令和4年5月1日時点の学級数

【感染者状況（期間別）】

	感染者数（名）			学級閉鎖
	全体	教職員	児童生徒等	
○令和4年度				
1学期 [4/8～7/22]	9,154	511（ 5.6%）	8,643（94.4%）	666 学級
夏季休業期間 [7/23～8/24]	6,146	728（11.8%）	5,418（88.2%）	－
2学期 [8/25～12/23]	12,072	957（ 7.9%）	11,115（92.1%）	223 学級
冬季休業期間 [12/24～1/4]	436	105（24.1%）	331（75.9%）	－
3学期 [1/5～3/24]	3,424	336（ 9.8%）	3,088（90.2%）	16 学級
春季休業期間 [3/25～3/31]	2	0（ 0%）	2（ 100%）	－
令和4年度 計	31,234	2,637（ 8.4%）	28,597（91.6%）	905 学級

2 令和5年度の感染者状況（令和5年4月1日～4月26日まで）

市立学校・幼稚園での新型コロナ感染者は、83 校園で、147 名（教職員：24 名、児童生徒：123 名）、学級閉鎖は1校1学級で確認（学校園から教育委員会への報告数）。

3 第6波以降（令和4年1月6日～令和5年4月26日）の週あたりの感染者数推移

